

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後の毎週末、過去最高の売上を記録している。来客数の増加が一番の要因である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・天候に恵まれたことも影響したのか、連休中は近年にない来客数があった。その大部分が県外客であったことも売上につながっている。
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で単価は101%と変わらないが、来客数が前年比108%と戻ってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今年になり客室稼働率は平均73%と、昨年度に比べて10%近く上がってきている。そのうち、ネット予約が約3割、リピート客が1割ほどである。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・個人旅行は、各社とも夏の早期獲得に向けてキャンペーンを行っている。当社も同様に、夏の家族旅行を中心に販売量が伸びている。法人関係も、4月の選挙以後5月から見積、受注が増えつつある。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜、特に深夜の動きが良くなってきたので前年同月と比べて9%の増収である。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・特殊な条件の工業関係の客から、工場等の規模拡張に伴う需要が出てきている一方、商業関係では売り物件が増加している。両極端で案件は出てきている。
変わらない		一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・天候には恵まれているが、工事の関係、その外、公共事業含めてあまり事業が取れないというユーザーの話もあり、当店の売上も販売量が今一つ伸びない。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。前年と比較して客単価は上がっているものの、売上の前年実績確保には至っていない。ボリュームゾーンの客の購買が低迷している。
		スーパー（統括）	お客様の様子	・売上は相変わらず前年をクリアしており、来客数、買上点数共に増加している。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・食品、衣料品の単価は共に前月までの横ばいからわずかに上昇傾向にある。来店頻度も上昇してきており、特に土、日、祭日の伸びが大きく、消費意欲は堅調である。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・客の様子を見ている限り、特別景気が下向きということはないが、店の売上や客単価はずっと下がり気味である。景気自体は変わっていないが、財布のひもは締め気味になっている。
		住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・3～4月のマイナス分を埋めるための特別セールで売上は確保できたものの、利益率は低下している。また翌月に反動でマイナスとなることを想定している。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・新規に発売された2機種は順調なスタートを切ったが、全機種出そろったわけではないので様子見の客も多く、数字が大きく動くまでには至っていない。
		高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの集客に期待していたが、それほどもなく、売上自体も前年と変わっていない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今月は予想外の入込もあって前年を若干上回ったが、売上の低かった前年同月を上回っただけでは良いとは言えない。来月以降の入込をみると、シーズンを通して下降傾向にあることは否めない。
		タクシー運転手	単価の動き	・運賃値上げの影響が懸念されたが、乗り控えの傾向は見られず、運行単価が上昇しており、運行回数も微増である。
		ゴルフ場（従業員）	販売量の動き	・入場者は天候に恵まれ増加しているものの、レストラン、売店の売上が、アルコール類からソフトドリンクへと移行しており不調である。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・1年で1番大きな記念競輪が開催されたが、来客数は多少伸びたものの購買単価は落ちている。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・半月ばまでの売上は例年より5%増えていたが、後半は落ちてしまい、トータルでは前月とあまり変わらなくなっている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	それ以外	・平成12年の景気ウォッチャー調査開始以降ずっと減り続けてきた在庫量が、やっと下げ止まった。

		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・5月に行われた所属団体の総会などで出る話の大半が、仕事が少ないという話で、自社だけでなく全体にそういう傾向であることを改めて感じている。周りを見て、住宅やその他の建築現場があまり見当たらない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・少し上向きとを感じる時があっても、その状態がなかなか続かない。
やや悪くなっている		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の購買意欲がみえない。客の年代にもよるが、先の情勢に不安を抱えており、ダイレクトメール、特価チラシにも動じず、商品の購入には慎重である。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・チラシの目玉商品の消化が前年より減っており、来客数も減少している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・近隣にショッピングセンターがオープンして3か月が経過したが、当初は来場だけの目的であったのが、ここきて客が実際にショッピングセンターで買物をはじめようである。当店の来客数は減少しており、婦人服の数字が大変低迷している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・軽自動車の販売は堅調であるが、それ以外の車種に関してはかなり低迷している。それに伴い利益確保が難しくなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数は前年比63%で、全く回復が見えない。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・競合店の度重なる出店に伴い来客数が減少している。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・別荘を販売しているが、最近の動きとして新築よりも中古が増えてきている。それにより、販売価格も低下してきている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・来客数自体も若干減少はしているが、来客数における買上客数のバランスが少し減ってきている。特に深夜帯はピークの時間が多少短くなっており、明け方の引けが早い傾向にある。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・運送会社等の廃業、倒産が相次いでおり在庫台数が減ってきている。今後も増える見込みはあまりない。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・今月は売上がほとんど無かっただけでなく、仕事の情報も少なくなってきたおり、大変悪い状況である。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・2～3か月前もあまり良くなかったがそれ以上にひどくなっている。来客数が減少し、仕事の依頼も来ない。
悪くなっている		一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・来客数が激減している。結局人が来なければどれだけ良い品物を安く販売しても目に付かない、増えない、この繰り返しの日々である。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年比で売上が下降している。ワールドカップが開催された前年と単純には比較できないが、映像関連品が特に厳しく、近隣店舗においても前年比100%の確保は厳しいとのことである。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・通常、5月は連休もあるせいかあまり良くないが、今年は更に輪を掛けて良くない。営業所のリニューアルオープンもあり販売台数の増大を目指したが、それでも去年より15%ほどマイナスである。3月以降本当に売れなくなってきた。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（生産管理担当）	それ以外	・当社の所属する工業団地内の企業でも、新たに土地を取得し新工場の建設を本格的に検討する企業が出始めている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、受注価格と取引先の様子もすべて順調で良い方向へ向かっている。
		経営コンサルタント	それ以外	・自動車関連の下請企業、部品加工業、精密機械関連業種等の受注は堅調で、設備投資も順調と言える。また、小規模な開発も進んでおり、宅地や街中の再生も見られる。
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の特注生産の時期に入っているものの、他の受注動向はこれといって良い要素がない。	

	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月は荷主の業種を問わず物量の荷動きが悪く、燃料の値上がり等もあり、厳しい状況である。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・市内のスーパーセンターが新たに生鮮食料品を扱い始めにぎわっている。景気動向が良く見える反面、今月のチラシ出稿量は97%と、広告主の不安がはいま見えるようである。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月より、品質の問題で中国から一部製品、生産が当社に戻ってきたが、既存製品の受注が下降気味である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・5月に入って、何か仕事がないかと言ってきたところが2社あり、当社よりも大きな取引先の閉鎖も決まった。閉鎖する取引先の上の会社が全部買い取り、当社とは直取引ということになる。かなり厳しい状況である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に生産が落ち込んでから回復に向かっていない。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・アパート管理費削減のために、植え込み等の植栽を通常の清掃作業で管理できる範囲内に規定し、清掃業務の委託業者がこれまでもと変わらない金額で通常の作業に加えて植栽の管理をも行うよう指示されている。	
	広告代理店（営業担当）	それ以外	・大型ショッピングセンターがオープンしたが、多少飽きられた感があり、集客が悪い。相変わらず消費の活性化はみられず、サービス業全体の売上は伸びていない。費用対効果を高く求められることが多く、客は宣伝費ねん出に慎重である。宣伝広告に対する集客効果が薄いとされるケースが増えている。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・設計、折込など営業活動を積極的に行っているが、実績に結び付いていない。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・アルミ材料など素材関係、ガス、電気、燃料関係が高値安定状況にある上、3か月前と比べ数量的に落ち込んでいる。先行きの見通しについても非常に悪い状況の中で、材料高騰の余波を受けてコスト吸収力が少なくなりつつある。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・小企業からの求人が出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・個人消費の改善が背景にあるのか、小売業、飲食店関係の企業からの求人が増えている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・求人数は3か月前とほぼ同じ程度である。販売、自動車関連、電子関連の製造では補充程度の人員を確保している。辞める人が少なく、夏前に人員カットというわさも広まりつつある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・正社員、パートの求人募集広告が多少増えた一方で、人材派遣、業務請負の募集が減ってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数はここ3か月連続で前月より減少しているが、有効求人数は横ばい状況が続いている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・5月に入り採用活動が本格化している企業は多いが、企業側は長期戦覚悟で採用活動に臨んでいる。学校側にとってはある意味良い状況とも受け取れるが、就職活動に積極的に臨める学生と、そうでない学生の格差が広がる時期でもあり、あまり前向きには受け取れない。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・依然として契約社員、派遣社員等の雇用形態から脱却できずにいる労働者が多い。企業側の体力が正社員登用に踏み切るに及んでいない。
悪くなっている	-	-	-	